

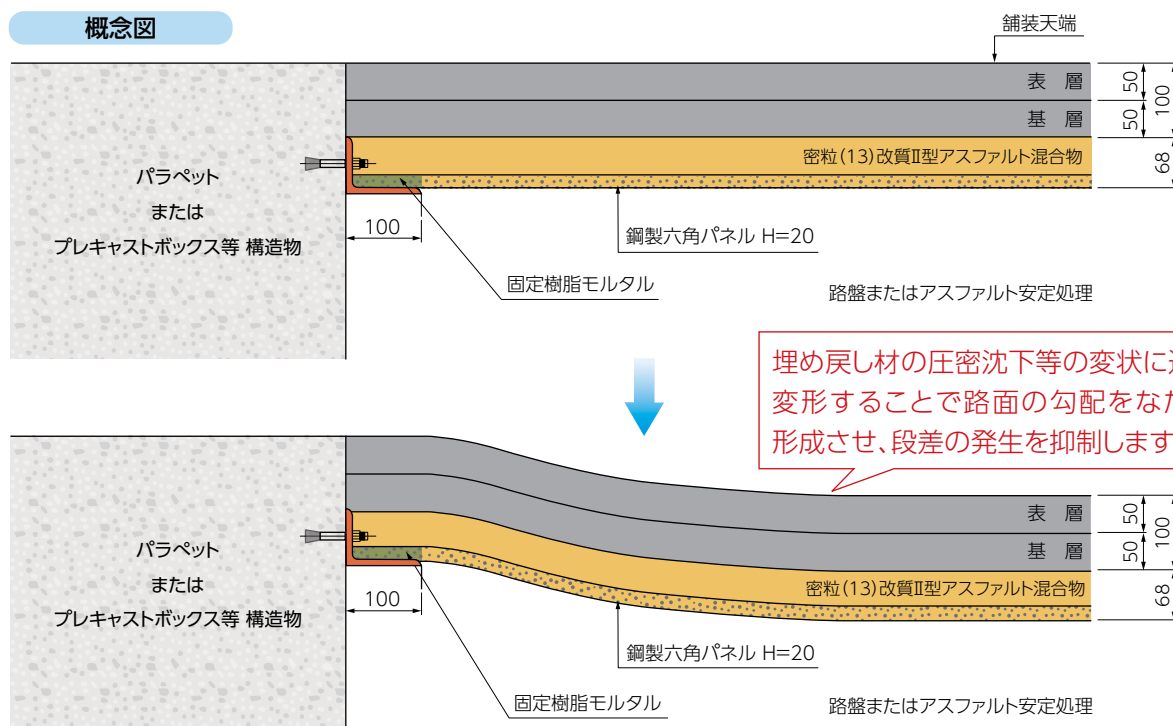
背面処理工とは

橋台やボックスカルバート等の構造物と土工部の境界に、鋼製六角パネル（ヘキサロックパネル）とアスファルト混合物の複合体で可撓性の踏掛版を構築する工法です。

背面処理工の特長

- 1 踏掛版のない既設橋やボックスカルバート等へ容易に設置できます。
- 2 供用中の道路で時間的制約を伴う場合にも施工が可能です。
- 3 施工時間が短いため工程の大幅な短縮が可能です。

概念図



施工実績



はまゆり大橋

平成 18 年 6 月施工
橋長 157.783m 宮城県本吉郡南三陸町
撮影日：平成 26 年 1 月 6 日
東日本大震災被災後 2 年 10 ヶ月経過。
被災後土工部が沈下したが、なだらかに
追従し段差は発生せず。現在もそのまま
供用中。

施工手順

1 着工前



2 不等辺山型鋼設置



3 鋼製六角パネル敷設



4 固定樹脂モルタル打設

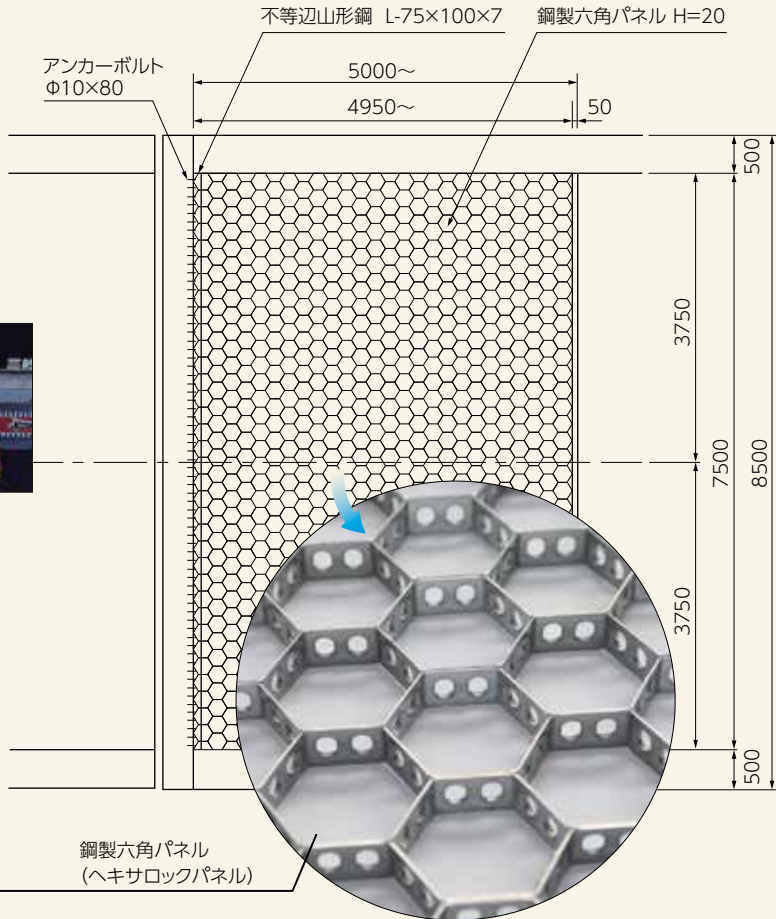


5 密粒(13)改質II型アスファルト混合物舗設



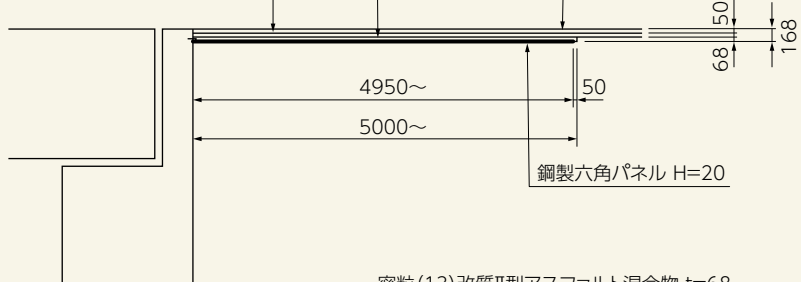
参考図

[平面図]

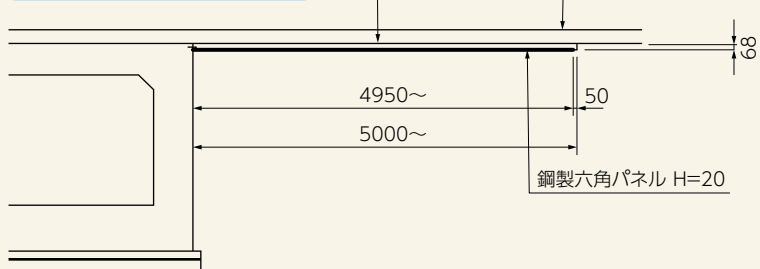


橋台背面

[断面図]



ボックスカルバート背面



製品概要

インフォメーション

NETIS登録製品

水路

雨水貯留

擁壁

補強土工

テクスパン工法

電線類地中化製品

道路

ます

景観

耐震性貯水槽

スポーツウォール

その他製品

会社案内